

第2回あま市パートナーシップ条例(仮称)策定委員会会議録要旨

平成23年8月3日(水)

午前10時から正午まで

あま市役所本庁舎 2階 大ホール

1 出席者等

出席者等(委員)	14名
(市側)	5名
(傍聴者)	0名

2 議題

1) ワークショップ(各班でテーマについて討論)

【発表要旨】

① まちづくりに関する活動内容

- 環境保全活動
- 青少年活動
- 防犯・防災ボランティア
- 子育てママの支援
- 地区内活動
- 食育啓蒙
- 区・自治会役員 など



② 課題・問題点

- 緊急災害時の避難通報手段の充実
- 市民と行政の信頼関係の構築
- 市民の自発活動の助長
- 職員の資質の向上
- 組織間、団体間の連携不足
- 資金不足
- 会員の高齢化及び後継者不足 など

③ 今後期待すること

- 団体間のネットワーク形成及び情報の共有
- 地元の伝統工芸品及び文化財のPR
- 民間への事業・業務委託
- 職員の柔軟な対応
- 市民と行政の協働作業 など

2) アンケート結果の概要

【説明要旨】

- 本年6月から7月中旬にかけて、大字区、コミュニティ協議会及び市民活動団体（ボランティア団体、NPO）の協力を得て、まちづくりに関するアンケートを実施した。
- 現在行っている活動については、「防火・防災活動」、「清掃」や「ごみ減量」といった環境活動が多く挙げられている。そして、活動や運営にあたっては、「役員・会員の高齢化」、「役員のなり手不足」が課題として挙げられている。
- 他の団体と連携して行う活動についても、「防火・防災活動」、「清掃等の美化活動」が大勢を占めている。なお、市民活動団体からの回答では、福祉関係の団体が多かったため、「福祉分野の活動」が4割以上を占めている。
- 協働によるまちづくりを進めていく上で、『協働』という言葉の認知度について聞いたところ、全体では7割ぐらいの方が知っていると答えている。また、協働の必要性については、ほとんどの方が「必要である」、「どちらかといえば必要である」と答えている。さらに、行政に期待したい支援策として、いずれの団体も「活動資金の援助」が最も多い。次いで、「まちづくりに携わる人材育成」、「協働のまちづくりに関する啓発」、「市民活動に関する情報収集と提供」が上位を占めている。